

## 目の前にある木よりも輸入の木が安い！？

皆さんは日本の木材自給率を知っていますか？  
令和3年時点で日本の木材自給率は41.1%  
国内で使われている木の半分以上は輸入した木が使われています。

日本は国土の66%、2/3が森林。  
先進国(OECD加盟国)の中では森林率3位の  
世界有数の森林国です。

黒い森(シュヴァルツヴァルト)を持つドイツは、  
木材自給率はほぼ100%です。

ヨーロッパ各国にも木を輸出しており、林業は国の  
基盤産業になっています。

全て国のもとで維持管理されているドイツの森林。  
林道は広く整備されており、どこにある木に対しても  
手入れ・伐採が簡単。

機械や設備もイノベーションされ続けています。

### 日本は・・・

森林面積 24,935 万 ha  
(森林率 68.4%)

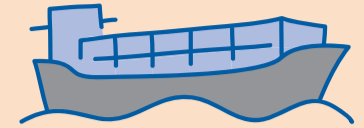
国土の3/2が森林



森林率  
第3位  
世界有数の森林国

しかし・・・

国内で使われている  
木の半分以上



「輸入の木」を使用

木材自給率  
41%

### ドイツは・・・

森林面積 1,140 万 ha  
(森林率 32%)



日本に比べると  
森林が豊富という  
わけではありません

だけど・・・

国で管理し  
木を持続可能な形で  
維持管理→出荷



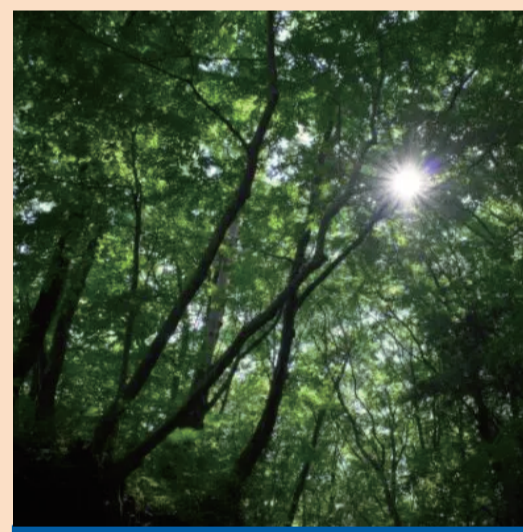
木材自給率  
100%

## 日本の木をもっと使おう！！

「木を切るのはいくはない」という  
認識がまだまだ根強いですが、  
森林は植える、育てる、切る、植える・・・と

循環させていい状態を保つこと

木を植えて大きく成長した状態で  
切らないでいると葉枝が伸びて  
樹々の下に影ができます。  
すると、背の低い若い樹々に  
光が当らなくなり、  
他の木の育ちが悪くなるのです。  
生きた木は光合成でCO2を減らす  
切られることなく生を終え倒れた木は  
腐ったり朽ちたりCO2を排出する  
存在になってしまいます。



若い樹々に  
光が当たらない



朽ちたりCO2を  
排出する存在に・・・

## 私たちにできることは？

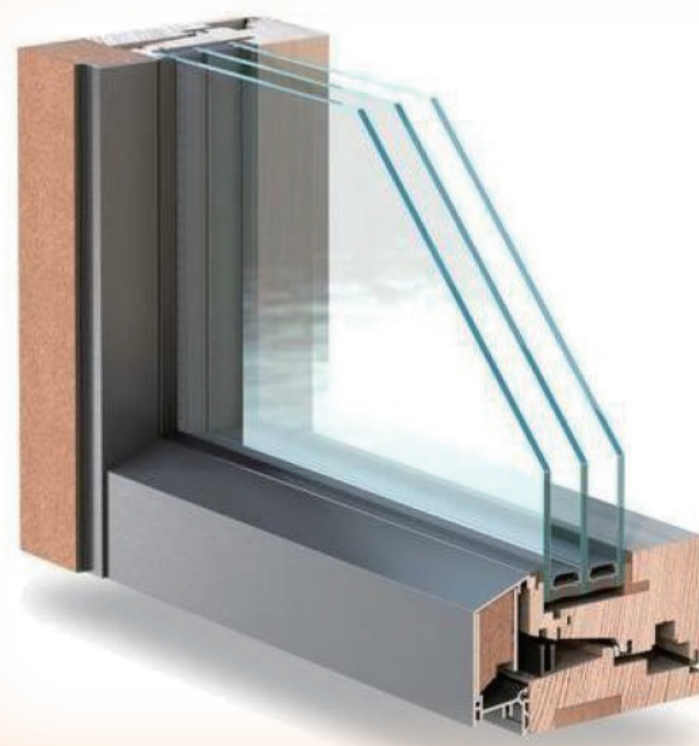
日本の森林や林道は手入れが  
行き届いておらず、  
木としての価値も下がって  
しまっています。  
「高いから」という理由で  
日本の木を使わないで  
いると、日本の森林は廃れていく。  
日本の林業自体を変えることが  
できなくても、自分が生業にしている  
「家づくり」から貢献できることはないか  
考えました。自分たちで出来ることは



「日本の木を  
安定的に使う事」

## スマートウィン「佐藤の窓」とは？

ドイツで開発された高性能な木製サッシ。  
日射取得量を増やしなが  
ヒートブリッジや熱損失をなくした  
断熱性能の高い“パッシブハウス用の窓”  
として世界で使用されています。



パッシブハウス※を建てるためには性能の高いトリプルガラスの木の窓が必須。  
自分が欲しい性能を満たした木の窓は輸入しなければ手に入りませんでした。  
「日本の木を使って家を建てているのに、木の窓は輸入するのか？」  
矛盾を感じていました。性能の高いトリプルガラスの木の窓日本にないので  
つくことにしました。



### ※パッシブハウスとは？

ドイツのパッシブハウス研究所が提唱する超ローエネルギー住宅。  
冬は家の南側の窓から入ってくるお日様のちからだけで、お家がぽかぽかに。  
夏はお日様を遮って、最小限の冷房でクーラーボックスのようにサラサラ快適空間になります。

